

New Hope

～札幌ペンテコステ教会ニュース～

2019年4月

「イースター」って、ご存知ですか。

最近ではスーパーにも「イースター」のコーナーがあります。クリスマスやバレンタインデーに続いて近年ハロウィンがイベント化されてきていますが、それに続くものとして商売上の戦略から何匹目かのドジョウとして売出し中なのが「イースター」という感じでしょうか。

日本語で「復活祭」とも呼ばれる「イースター」は、キリスト教会ではクリスマスと並んで大切な行事の一つです。イエス・キリストの誕生を記念して祝うのが「クリスマス」で、復活を祝うのが「イースター」です。(毎年変わります。今年は4月21日)

札幌ペンテコステ教会

主任牧師 矢巻 邦彦

札幌市中央区南 14 条西 18 丁目 4-5

TEL&FAX 011-561-5072

<http://sapporopk.com/>

復活を祝う「イースター」

イエス・キリストは、人類の救い主として、人間の赤ん坊としてこの世に生まれてきました。その目的は、人類の身代わりとなって十字架上で死ぬためでした。ただ死んでしまっておしまいではなく、3日目に復活し、多くの人々の前に現れ、そして皆が見ている前で天に昇っていきました。そのことを祝うのが「イースター」なのです。

イースターエッグや、それを運んでくるというウサギなどは単なるお話なのですが、キリストの存在は歴史的事実です。世界史の教科書ではキリストは十字架に架けられて死んで済まされていますが、実際には復活したのです。「仮死状態」などというものではなく、完全に死んで、本当に死んだかどうか兵士が槍で突き刺して確認した上で埋葬されました。しかしキリスト自身、事前にこう語っていました。

「人の子は人々の手にわたされ、彼らに殺され、そして三日目によみがえるであろう」。

(新約聖書 マタイによる福音書

第 17 章 22～23 節)



占いなどで、いろいろなことを言い当てる人がいます。けれども自分が殺されること、その後に復活することを予め伝えていて、実際にそのようになった人がキリスト以外にいるでしょうか？ これは、どこかの誰かが考案した「宗教」ではないのです。唯一の創造主なる神様の存在を認め、神の計画の通りに起こったキリストの誕生と復活とを受け入れる

……そのことに対して「キリスト教」と名付けられただけなのです。

「そんなバカげたことがあるもんか」 そう思いますか？ 百聞は一見にしかずです。もしあなたご自身がイエス・キリストを知るならば、実際に体験するならば、わかります。逆に、イエス・キリストと個人的に交流を持っていなければ、タワゴトにしか聞こえないでしょう。受け入れるか受け入れないかは、あなたの自由意志に委ねられています。

十字架の言は、滅び行く者には愚かであるが、救にあずかるわたしたちには、神の力である。 (新約聖書 コリント人への第1の手紙 第1章18節)

祈ってみましょう

「復活」って、ほんとうにあったのでしょうか。今ひとつピンときません。でも、本当なんだったら知りたいと思います。イエス・キリストの復活が私にどう関わりがあるのか、理解できるように助けて下さい。そして、全世界の多くの人たちとともに、復活の嬉しさがわかるようにして下さい。



教会の定期集会のご案内

GP クラブ こどものためのプログラムです。(毎週日曜日 あさ 9:00~10:00)

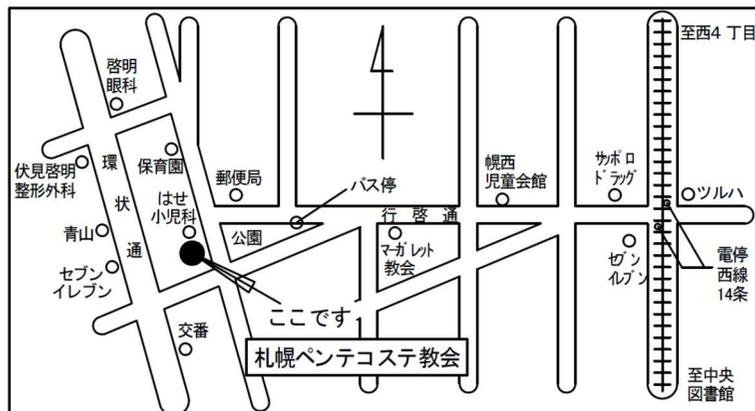
聖日礼拝 真の神様に賛美をささげ、聖書のことばを聴きます。
(毎週日曜日 あさ 10:30~12:00)

祈り会 神さまを賛美し祈ります。(概ね月1回、木曜日 よる 7:00~8:30)

どの集まりも参加自由、入場無料です。それぞれ、自由献金の時間がありますが、「感謝の気持ちをささげる」ためのもので、する・しないも、金額も、各自の自由です。その他、ご希望があれば、神様について、イエス・キリストについて、聖書について、ご説明するお時間を取ります。お申し出下さい。

教会のホームページ <http://sapporopk.com/>

NewHope のバックナンバーを読んだり、教会の様子を見たりできます。



【教会へのアクセス】

西4丁目電停から市電にて
西線14条下車

JR 札幌駅札幌ターミナルから
JR 北海道バス啓明線[51]にて
南14条西17丁目下車

駐車スペース有